

ただし反行する並行完全5度の場合は許容される。

これに反して、外声部の反行並行完全8度は許容されない。

減三和音の $\bar{5}$ 、 $+\frac{6}{3}$ 、 $+\frac{6}{4}$ の諸和音にかんしては、旋律的に増4度進行をしてはならない。

減5度音程の旋律的進行は許されるが、下行・上行したのち、2度反行で順次進行しなければならない。